

結城農業かわら版

第173号 令和7年12月19日発行

発行元:結城地域農業改良普及センター

TEL:0296-48-0184

FAX:0296-48-2682



HPへアクセス↑

第56回結城市農業祭農業共進会が開催されました！

11月15日(土)、結城市けやき公園噴水広場にて、結城市農村青少年クラブ主催による結城市農業祭共進会が開催されました。共進会は、生産者が結城市の農産物を一般消費者にPRするため、また個々の農家においても品評しあい、品質向上の意識をより一層高めあうことを目的に開催しています。

今年は穀物の部9点、葉菜の部(ハクサイ、レタス、キャベツ)27点、その他園芸の部14点の合計50点が出品されました。各部門から上位3位までの入賞と、各部門の1位から特別賞を選出しました。結城市長賞はハクサイ、結城市議会議長賞は玄米、茨城県議会議員賞はキャベツ、北つくば農業協同組合長賞はズッキーニ、農業委員会会長賞はレタスが選出されました。

出品された生産物はクラブ員が消費者にPR販売しました。高品質な農産物はお客様から好評をいただき完売となりました。

今後も普及センターでは、高品質な作物を生産できるよう支援していきます。



特別賞に選出された生産物



共進会出品物を販売するクラブ員

春胡瓜の安定生産に向けた栽培講習会が開催されました

11月13日(木)、JA常総ひかり主催による春胡瓜栽培講習会が開催され、生産者18名が参加しました。

講師として種苗会社と肥料会社の担当者が招かれ、各品種の特徴や栽培管理の留意点、施肥のポイントなどについて細やかな説明がありました。

普及センターからは、安定生産に向けた効果的な炭酸ガス施用方法などのハウス管理について情報提供しました。

栽培講習会終了後には生産者と各担当者で活発な意見交換が行われ、キュウリの安定生産に向けて、有意義な講習会となりました。

春キュウリは11月下旬に定植し、年明けの1月から約半年間の収穫が始まります。普及センターでは、高品質なキュウリ栽培に向けて引き続き支援を実施していきます。



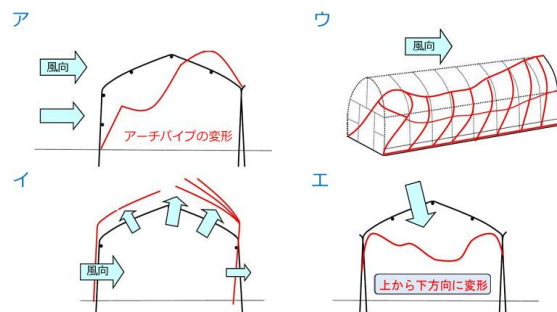
栽培の留意点を聴く生産者

農業用ハウスの補強対策はお済みですか？

農業用ハウスを大雪等の被害から守るため、事前の補強対策や強靱化を行いましょう。

パイプハウスの被害の特徴は、以下の4つのパターンに分類されます。

- ア 風上側の肩部分から屋根にかけて押しつぶされた状態
- イ 下から吹き上がるようにパイプが変形
- ウ 妻面が奥行方向に倒壊
- エ 真上から屋根が押しつぶされたように陥没



補強対策事例

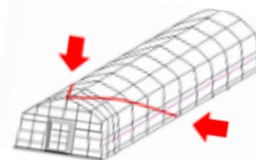
1. タイバー及び斜材による補強

- ・屋根荷重によるハウスの変形を防ぐ補強方法です。
- ・アーチパイプ4本ごとに1か所取り付けるのが一般的です。



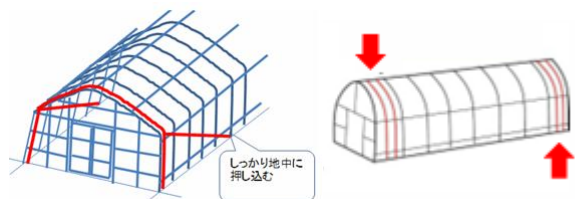
2. 筋交い直管による補強

- ・ハウスを剛強に固め、妻面が奥行方向に倒れるのを防ぎます。
- ・筋交い直管の端は、しっかりと地中に埋め込むよう注意します。



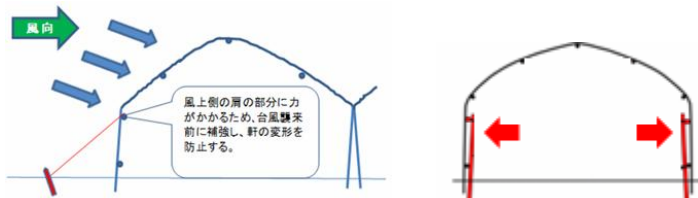
3. 各部(妻面、側面等)の補強

- ・強風や上からの積雪荷重による倒壊を防ぎます。
- ・ハウス設置場所の条件や風向きを考慮した有効な補強方法を検討しましょう。



4. その他資材による補強

- ・引っ張り資材やつかえ棒等による肩部補強で、軒の変形を防止します。
- ・太いアーチパイプにて局部を重点的に補強できます。



各部の有効的な具体例を示しています。

注意

- ・ハウスの立地条件や、ハウス周辺の状態によって被害の程度は変わります。
- ・必要以上に屋根部や側面部を補強するとハウス内の光量が不足し、作物の生育に影響を及ぼす可能性があります。
- ・地域にあわせた適切な補強を行いましょう。

より詳しい内容は、右側のQRコードからご確認ください。→



(詳細版)



(ダイジェスト版)

農業用ハウス災害被害防止マニュアル